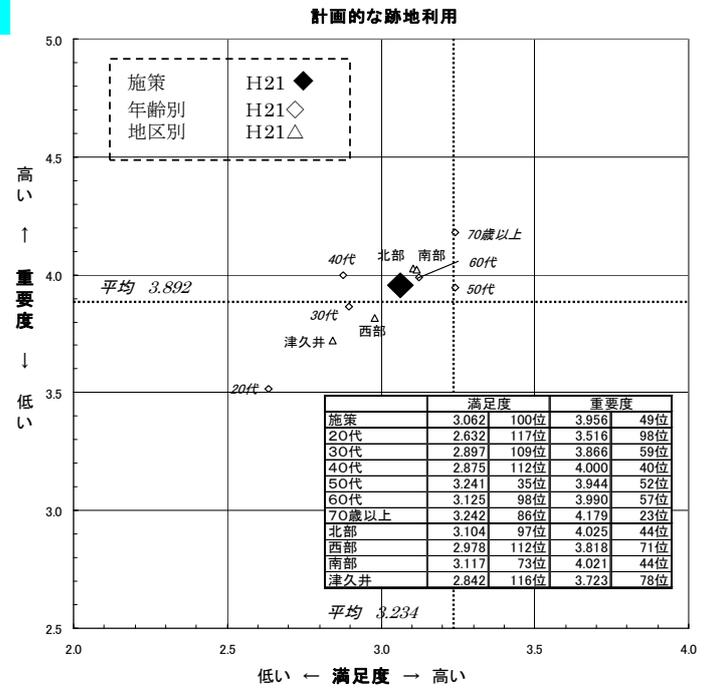


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.062で全119施策の中で100番目。
- 重要度は3.956で49番目である。
- 改善要望度は0.167で33番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	
効率性	最小の経費で最大の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 2 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立つて事業展開している	4(2)1	4(2)1	
合計		4		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下) A(6点以上) B(5点、4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	留保地の市民利用を実現化するため、より具体的な施設整備計画等を作成し、国に対して積極的なアピールを行う必要がある。
解決策	市民公募委員や学識経験者等で構成するキャンプ淵野辺留保地整備計画検討委員会を平成21年度に設立し、具体的な施設等の整備計画の策定に向けた検討を進める。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

施策目的は基地の返還跡地の留保地の計画的利用であり、定期的に成果を挙げることが困難な性質であるため、時系列で成果と投入経費の比較により評価する効率性の視点での評価は適切でなく、効率性の視点での評価は行わない。(評価は昨年度のA=6点以上、B=5、4点、C=3点以下で行う。)	2次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向